安全データシート

1. 製品及び会社情報　追記

販売会社名	：株式会社理研グリーン
住所	：東京都台東区東上野四丁目8番1号
担当部門	：開発部企画開発課
電話番号	：03－6802－8587
FAX 番号	：03－6802－8303
推奨用途及び使用上の制限	：農薬

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降を参照してください。

管理番号 ： NO-4961301

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アグリマイシン－１００
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	2019 年 02 月 19 日
SDS 改訂日	2022 年 01 月 20 日(03 版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（腎臓，免疫系）
環境有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分 1

ラベル要素

絵表示（GHS JP）

注意喚起語（GHS JP）　：危険

危険有害性（GHS JP）　：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（腎臓、免疫系）
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き(GHS JP)

安全対策　：使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。

取扱い後は手、顔 をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置　：　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管　：　施錠して保管すること。

廃棄　：　内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

一般名　：　オキシテトラサイクリンとストレプトマイシン硫酸塩を有効成分とする農業用殺菌剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン	2.8	C22H24N209（オキシテトラサイクリン）	(9)-271（オキシテトラサイクリン）	7-(1)-483（オキシテトラサイクリン）	79-57-2（オキシテトラサイクリン）
ストレプトマイシン硫酸塩	18.8	(C21H39N7012)・3/2H2S04	既存化学物質	なし(公表化学物質扱い)	3810-74-0
石英	<2.0	02Si	(1)-548	なし(公表化学物質扱い)	14808-60-7
クリストバライト	≦26.7	Si02	(1)-548	なし(公表化学物質扱い)	14464-46-1

オキシテトラサイクリンとして 1.5%、ストレプトマイシンとして 15.0%

界面活性剤、安定剤、鉱物質微粉等

含有量　78.4%（上記の石英、クリストバライトを含んだ含有量）

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合	：	汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	：	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	：	水で口の中をよく洗う。 医師の診察／手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	：	対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	霧状の水 炭酸ガス消火剤 粉末消火剤 泡消火剤
使ってはならない消火剤	：	棒状放水。
火災危険性	：	燃焼によって有毒ガスを生成する。
消火方法	：	火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火作業は風上から行う。 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。 容器を安全な場所から水噴霧で冷却する。 移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
消火を行う者の保護	：	燃焼により毒性･有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと、 風上に立ち蒸気を避ける。
消火時の保護具	：	自給式呼吸器および化学物質用防護服を着用する。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所へ移動する。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	：	作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。 人を退避させ、飛散･漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 粉塵を吸入しないこと。 風上から近づく。 十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項　：　排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法　：　漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項　：　作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後はよく手、顔 を洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

接触回避　：　「10.安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件　：　直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

安全な容器包装材料　：　データなし

8. ばく露防止及び保護措置

《アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン のデータ》

厚生労働省

管理濃度　：　設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会)　：　第 3 種粉塵：吸入性粉塵 2mg/m3、総粉塵 8mg/m3

年度　：　2021

ACGIH

許容濃度(ACGIH)　：　設定されていない

年度　：　2021

《ストレプトマイシン硫酸塩 のデータ》

厚生労働省

管理濃度　：　設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会)　：　第 3 種粉塵：吸入性粉塵 2mg/m3、総粉塵 8mg/m3

年度　：　2021

ACGIH

許容濃度(ACGIH)　：　設定されていない
年度　：　2021

《石英 のデータ》
厚生労働省
管理濃度　：　E = 3.0 / (1.19Q + 1), E: 管理濃度 (mg/m3), Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
日本産業衛生学会
許容濃度(産衛学会)　：　【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m3
年度　：　2017
ACGIH
許容濃度(ACGIH)　：　TWA 0.025 mg/m3(R),STEL -
年度　：　2017

《クリストバライト のデータ》
厚生労働省
管理濃度　：　E = 3.0 / (1.19Q + 1), E: 管理濃度 (mg/m3), Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
日本産業衛生学会
許容濃度(産衛学会)　：　【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m3
年度　：　2021
ACGIH
許容濃度(ACGIH)　：　TWA 0.025 mg/m3(R),STEL -
年度　：　2021

設備対策　：　屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、シャワー･洗眼器を設置する。
呼吸用保護具　：　防塵マスク
農薬用マスク
手の保護具　：　ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋
眼の保護具　：　ゴーグル
皮膚及び身体の保護具　：　材質を特定しないが、長袖・長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　固体
形状　：　水和性粉末
色　：　淡黄褐色
臭い　：　データなし
pH　：　3.5 － 4.5
融点　：　データなし
凝固点　：　データなし
沸点　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
可燃性　：　データなし
蒸気圧　：　データなし

相対密度	：	データなし
密度	：	0.18 － 0.28 g/ml（見掛け比重）
相対ガス密度	：	データなし
溶解度	：	データなし
n-オクタノール/水分配係数（Log Pow）	：	データなし
爆発限界（vol %）	：	データなし
動粘性率	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	危険な反応は知られていない。
化学的安定性	：	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	：	情報なし。
避けるべき条件	：	高温。直射日光。
混触危険物質	：	酸。塩基。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	：	一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物(NOx)および硫黄酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	：	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	：	区分に該当しない(分類対象外)（気体） 分類できない（粉じん、ミスト）

アグリマイシン－１００	
LD50 経口 ラット	≥ 16000 mg/kg (♂♀)
LD50 経皮 ラット	≥ 5000 mg/kg (♂♀)

皮膚腐食性/皮膚刺激性 ： 分類できない

オキシテトラサイクリン、ストレプトマイシン硫酸塩は、いずれも区分に該当しないが、製品のデータがないため分類できないとした。

アグリマイシン－１００	
pH	3.5 － 4.5

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ： 分類できない

オキシテトラサイクリン、ストレプトマイシン硫酸塩は、いずれも区分に該当しないが、製品のデータがないため分類できないとした。

アグリマイシン－１００	
pH	3.5 － 4.5

呼吸器感作性	：	分類できない
皮膚感作性	：	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 区分１のオキシテトラサイクリンを 1.0%以上含有するため、区分１とした。

生殖細胞変異原性　：　遺伝性疾患のおそれの疑い
区分 2 の結晶質シリカ（石英、クリストバライト）を 1.0%以上含有するため、区分 2 とした。

発がん性　：　発がんのおそれ
区分 1A の結晶質シリカ（石英、クリストバライト）を 0.1%以上含有するため、区分 1A とした。

生殖毒性　：　分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)　：　分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)　：　長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（腎臓，免疫系）
区分 1(呼吸器、腎臓、免疫系）の石英を 1.0%以上 10%未満、区分 1(呼吸器)のクリストバライトを 10%以上含有するため、区分 1(呼吸器)、区分 2(腎臓、免疫系）とした。

誤えん有害性　：　分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期（急性）　：　水生生物に非常に強い毒性
下記データから、区分 1 とした。

水生環境有害性　長期（慢性）　：　長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
製品を急速分解性でないとみなした場合、藻類の NOEC データ及び急性のデータから、区分 1 とした。

アグリマイシン－１００	
LC50 - 魚 [1]	1000 mg/l (ｺｲ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	40.3 mg/l (ｵｵﾐｼﾞﾝｺ、48hr)
EbC50 (藻類)	0.947mg/l(0-72hr)
NOEC 藻類 慢性	0.1 mg/l (72hr)

残留性・分解性

アグリマイシン－１００	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

アグリマイシン－１００	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

アグリマイシン－１００	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性　：　分類できない

オゾン層への影響　：　モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。

その他の有害な影響　：　追加情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装　：　容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報　：　IMO の規定に従う。

航空規制情報　：　ICAO/IATA の規定に従う。

国連番号　：　3077

正式輸送品名　：　環境有害物質（固体）

国連分類　：　9

容器等級　：　III

海洋汚染物質　：　適用される

国内規制

海上規制情報　：　船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報　：　航空法の規定に従う。

特別な輸送上の注意　：　荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

その他の情報　：　補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法　：　名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９）

結晶質シリカ （政令番号 ： 165 の 2）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９）
結晶質シリカ

毒物及び劇物取締法	：	非該当
消防法	：	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	：	非該当
農薬取締法	：	該当

16. その他の情報

引用文献 ： 農薬登録データ
石英、クリストバライト：NITE CHRIP の GHS 分類結果

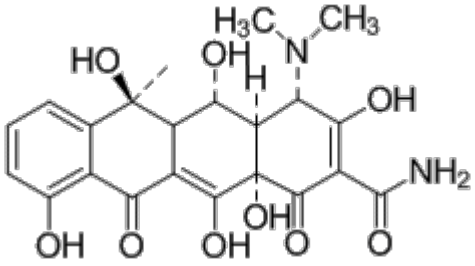
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、
含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

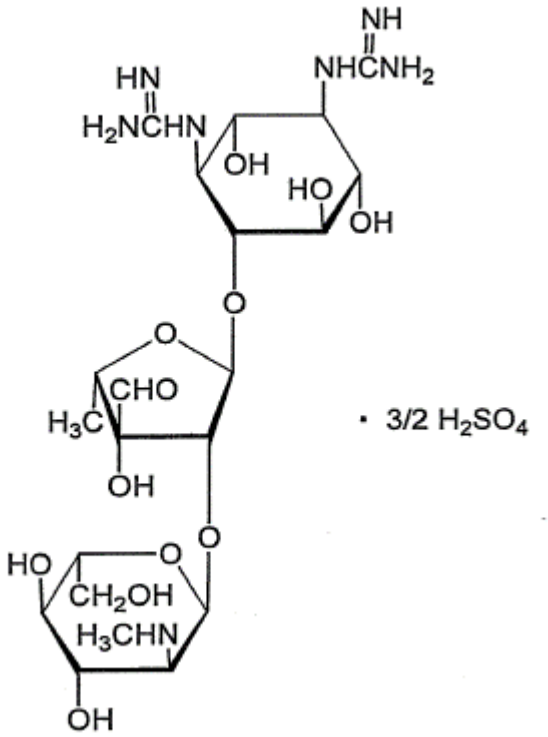
公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒１１０番	一般市民専用電話	（大　阪）	072-727-2499（情報料無料） 365 日 24 時間対応
		（つくば）	029-852-9999（情報料無料） 365 日 9～21 時対応
	医療機関専用有料電話	（大　阪）	072-726-9923（1 件 2000 円） 365 日 24 時間対応
		（つくば）	029-851-9999（1 件 2000 円） 365 日 9～21 時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。



CAS 番号 ： 79-57-2（オキシテトラサイクリン）
化学名 ： オキシテトラサイクリン



CAS 番号　　：　3810-74-0

化学名　　：　ストレプトマイシン硫酸塩